
国指定天然記念物 馬場大門のケヤキ並木
保護管理計画

平成20年2月

府中市教育委員会

序

「馬場大門のケヤキ並木」は、大正 13 年 12 月に国の天然記念物に指定され、平成 16 年に指定 80 周年を迎えました。かつては、六所宮、現在の大國魂神社の表参道で、両側が馬場になっていたものです。その起源は、平安時代後期、源頼義・義家父子の奥州安倍一族の乱平定後の戦勝祝いに、ケヤキの苗を 1,000 本寄進したことに始まると伝えられてきましたが、徳川家康が関ヶ原の戦勝の報賽等で、慶長年間に 2 条の馬場を献納し、ケヤキを補植したものが、現在のケヤキ並木の起源と考えられています。

このケヤキ並木は、国指定天然記念物としては国内唯一のものであり、全国的にも貴重な文化財であるとともに、いまや府中市の表玄関にふさわしいシンボルとして、府中市を代表する歴史的に由緒ある貴重な文化財です。

ケヤキ並木には、かつて胸高周囲が 10m 以上の大ケヤキもありましたが、今や様々な要因によって、年々衰えを見せるようになってきました。そこで、府中市では、ケヤキ並木の 50 年・100 年先まで見据えた保護を図るため、市制施行 50 周年を迎えた平成 16 年度から 2 か年に亘って、保存対策調査を実施しました。

その調査結果に基づき、平成 18 年度に「国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木保存管理計画策定委員会」で、計 6 回にわたる策定委員会を開催し、将来に向けてのケヤキ並木の保護にとって必要となる貴重な提言がなされました。

本計画書は、委員会の提言をもとに、ケヤキ並木の具体的な保護・管理計画をまとめたものです。今後は、本計画書に基づき、所有者、市民、専門家と行政が協働で、計画に盛り込まれた様々な保護対策を具現化し、実施してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本計画書をまとめるにあたり、貴重な提言をいただきました「国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木保存管理計画策定委員会」の委員の皆様、有益なご指導・ご助言を賜った文化庁記念物課、東京都教育委員会、所有者である大國魂神社に心よりお礼申し上げます。

平成 20 年 2 月

府中市教育委員会

教育長 新 海 功

例 言

1. 本書は、東京都府中市宮町一丁目他に所在する国指定天然記念物「馬場大門のケヤキ並木」の保護管理計画書である。
2. 本計画の策定に先立ち、「天然記念物馬場大門のケヤキ並木史跡等保存管理計画策定事業」として、文化庁の国庫補助を受け、「国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木保存管理計画策定検討委員会」を設置し、提言書を作成した。検討委員会の構成や委員会の開催経過は、別に記載したので参照されたい。
3. 本書は、上記委員会の提言書をもとに、文化庁、東京都教育委員会の指導のもと、府中市教育委員会生涯学習部生涯学習課文化財担当がとりまとめたものである。
なお、補助事業名及び委員会の名称は、「天然記念物馬場大門のケヤキ並木史跡等保存管理計画策定」としていたが、委員会の提言に基づき、最終的に「国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木保護管理計画書」とした。
4. 本計画の策定に係わるコンサルタント業務及び本書の編集は、府中市教育委員会指導のもと、株式会社愛植物設計事務所に委託して行った。
5. 本書の作成にあたっては、次の諸氏・関係機関等からご教示、ご協力を得た。
神庭正則、多田 亨、馬場治子、大國魂神社、周防大島文化交流センター、文化庁、東京農工大学共生科学技術研究部、東京都、東京都教育委員会、財団法人府中文化振興財団

註

本保護管理計画では、「ケヤキ」と「けやき」の用語を使い分けて使用しています。

「ケヤキ」：植物の個体としての名称で、国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木という文化財指定地を指す場合。

「けやき」：指定地のケヤキ並木を含む周辺環境（例、けやき並木通り等）や保護に係る普及・活動等（例、けやきフェスタ等）を指す場合。